

# 近畿乳児院における食物アレルギーの実態調査結果

出典	日本小児臨床アレルギー学会誌 2018;16(3):367-370 ( <a href="http://search.jamas.or.jp/link/ui/2019111620/">http://search.jamas.or.jp/link/ui/2019111620/</a> )
著者	井上美穂 他
調査地域	近畿地方（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山の6府県）
調査時期	2015年1月
調査対象	近畿乳児院協議会参加の乳児院23施設（0～4歳、平均2歳4か月）
依頼数	23施設
有効回答数 または回収率	95.7% (22施設: 678人)
診断方法	施設職員の申告（食物除去の指示に関しては不明）
有症率	6.5% (44人)
調査概要	近畿乳児院児を対象に食物アレルギーの実態を調査した論文。原因食物は、鶏卵(72.7%)、牛乳(11.4%)、小麦(11.4%)の順に多かった。食物アレルギー児の36.4%が誤食を経験していた。